

男女共同参画委員会の活動



加藤隆史

東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻
[113-8656] 東京都文京区本郷7-3-1
教授, 工学博士.
専門は高分子材料, 超分子材料, 液晶材料.
<http://kato.t.u-tokyo.ac.jp/>

高分子学会にはさまざまな委員会があり、それぞれの目的に沿って活動していることはご存知のとおりです。その中に、男女共同参画委員会があります。さまざまな活動を2007年の設立時から行ってきておられます。皆さんがいつも読んでおられる、この「仕事と私事」の記事の企画も、男女共同参画委員会の仕事です。本委員会の活動および関連の内容をぜひ知っていただきたいと思い私のほうから尊敬も込めてこの委員会を紹介させていただきます。第29期会長の澤本光男先生のと、2007年に本委員会は、栗原和枝先生を委員長として創設され、現在にいたっております(高分子、57、460(2008))。その後、この歴代の委員長・委員・事務局の活躍により年次大会・討論会などの託児所の開設など具体的成果があがっています。現在の委員長は高井まどか先生です。さらに、ほかの学会の関連組織との連携で、実際の制度の改定にもつながっているとのこと。

さて、皆さんは高分子学会の会員の男女比率がどのくらいと思われるでしょうか。手元のデータでこの10年を紹介します。正会員と学生会員を合わせた会員全体で見ると2019年は、女性13.0% (男性87.0%)です。2011年は女性10.2% (男性89.8%)ですので、増加傾向です。絶対数も少しずつ増えています。これを正会員と学生会員に分けて見てみると、正会員では女性8.4% (男性91.6%)、学生会員では女性25.1% (男性74.9%)となります。上で紹介した栗原先生の「高分子」の原稿によりますと、「2008年で、女性正会員は7%に近づいた」とのことですので、13年かけて約1.5%、わずかに増えたということになります。絶対数も増えていますので、この歩みを着実にさらに進めて加速させていくことが必要です。現在、学生会員において、女性会員の比率が1/4であり、レベルも高く、多くのポスター賞をとっておられるということは特筆に価すると思います。私の研究室に在籍した女性大学院生も皆さん優秀です。この優秀な女性学生会員を正会員として多く残っていただき、高分子学会や日本の科学技術のアクティビティ向上につなげていくのが重要なことです。女性の高分子関係者の皆様、ぜひ、会員になって、あるいは会員をやめずに、高分子学会の行事に参加して、専門・関連分野の知識を得たり、刺激を受けたりする

とともに、情報発信も行ってください。とくに横の人間関係・仲間を作ってください。お互いに元気を与えながら、ご活躍いただきたいと思います。われわれもできるだけ応援させていただきたいと考えています。

さて、男女共同参画委員会の活動の紹介に戻りましょう。男女共同参画委員会の現在のおもな仕事は以下のようなものがあります。

- ・ 会誌への記事の掲載の執筆者選定(「仕事と私事」)
- ・ 年次大会の際に、男女共同参画セミナーの開催
- ・ 討論会時に、女性研究者と女性研究者のたまごの交流会の開催
- ・ 男女共同参画学協会連絡会の活動(委員会・シンポジウムへの参加など)

図1には、2018年に中止となった北海道大学での第67回高分子討論会において予定しておりました交流会のポスターを載せておきます。これも良い企画でしたが実施できず誠に残念でした。

最後まで読んでいただいた読者の皆さん、ありがとうございます。お願いですが、周りの大学院生の皆さん、とくに若手女性研究者(高分子学会会員でなくともかまいません!)に、これまでの「仕事と私事」の記事をあらためて紹介していただけないでしょうか。ずっと努力されてきている方がおられて現在につながっていますが、これがさらに多くの方々に引き継がれていくことを願っています。最後に本原稿を書くにあたり、吉江尚子先生、高井まどか先生にはいろいろとご助言をいただきました。お礼申し上げます。

第67回高分子討論会 特別企画
高分子学会 北海道大学

しなやかなキャリアパスを考えよう

**女性研究者と
研究者のたまごの
交流会**

無料
ランチつき

研究だけじゃない
企業・大学で働く女性研究者の話を
聞いてみよう!

2018 **9/13** (土) 12:10-13:30(途中入場 随時可)
北海道大学 遠友学会 (札幌市北区18条東7丁目)

対象者: 高分子討論会参加者および北海道大学関係者 (性別は問いません)
定員: 先着60名 (事前申込をお願いします)
プログラム:

◆女性研究者3名のお話

- ① 森井 日出子氏 三菱ケミカル(株) 横浜研究所 高分子材料研究室
「高分子材料を作るその苦労と楽しさ」
- ② 秋山 直美氏 森工(株) ステンレス研究所 主任研究員、博士(理学)
「民間企業の商品開発研究者の働き方紹介」
- ③ 天野 麻穂氏 北海道大学病院 臨床研究開発センター-URA
「研究を研究する仕事」

*交流スタイル

申込 goo.gl/ck14tB
内の「申込フォーム」より

締切 **9/7** (金) 17:00

◆お問い合わせ先
北海道大学 人材育成本部 女性研究推進室
<https://fresh.hokudai.ac.jp/>
mail: fresh@fresh.hokudai.ac.jp
011-706-3625

FreshU

図1 中止になった2018年第67回高分子討論会での企画のポスター